

3-8

自然排便をめざして

腸を元気にして下剤をへらす試み

排泄ケア

オリゴ糖

特別養護老人ホーム 葛飾やすらぎの郷

看護師 武田 幸子	施設長 中山美千代	管理栄養士 前林 由美
東京都葛飾区新宿 3-4-10	生活援助員 福田 久美子	看護課一同
TEL : 03-5648-8250	E-mail : hiroshi-hasegawa@totokyogikai.jp	
FAX : 03-5648-8251	URL : http://www.sukoyaka-fu.or.jp/	

今回の発表の施設 またはサービスの 概要 10p	社会福祉老人すこやか福祉会が母体である葛飾やすらぎの郷は、平成13年4月に80床（特例入所4床）の特養と16床の短期入所、デイサービスが併設された福祉施設です。
--------------------------------	--

<p><取り組んだ課題></p> <p>○84名の利用者のうちで、56名の方が毎日下剤を服用している。それ以外の28名中14名の方が下剤を頓服で服用し、下剤を服用しない方が14名であった。</p> <p>○毎日下剤を服用している56名の方の中で、排便がなく3日から4日目で下剤を追加で服用している方が26名である。</p> <p>○排便コントロールを下剤に頼っている現状がある</p> <p>○下剤の効きすぎによる皮膚トラブルを起こしている。</p> <p>○下剤に頼らない排泄ケアの見直しに取り組む</p> <p><具体的な取り組み></p> <p>対象者：</p> <p>○下剤を毎日服用していても、排便がなく3日から4日目でさらに下剤を追加している26名中から6名を選出する。（トイレ歩行4名 オムツ排泄2名）</p> <p>○排便の確認ができる人</p> <p>方法：</p> <p>○オリゴ糖 12gを1日一回飲み物に入れて飲んでもらう。（対象者が好きな飲み物に入れる。）</p> <p>○実施期間は9月2日から10月31日</p> <p>○実施期間中の排便コントロールは現状と同じくする。</p> <p>○食事量の確認</p> <p>○期間中の排便状態を分析する。</p>	<p><活動の成果と評価></p> <p>今回の取り組みを実施する事で、職員間の排便コントロールについての意識が変わった。現在取り組み中にて下記について評価する</p> <ul style="list-style-type: none">○ 実施期間中の排便状態○ 実施した事で学んだこと○ その他 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none">○ 生活援助員、管理栄養士、作業療法士などの専門分野が生理機能に働きかける援助○ 下剤服用者の使用を検討し下剤の減量に取り組む中で自然排便をめざす○ 生活全般の見直し○ オムツで排便をしている方のトイレ誘導○ 認知症の方の排便の確認 <p><参考資料など></p> <ul style="list-style-type: none">○ 高齢者の排便障害 医歯薬出版株式会社○ おはよう21 「便通を良くする介護」
--	---

--